

2022年度コウノトリ育む農法水稲作付の実績

～無農薬栽培米が20.4ha、14.5%の増加～

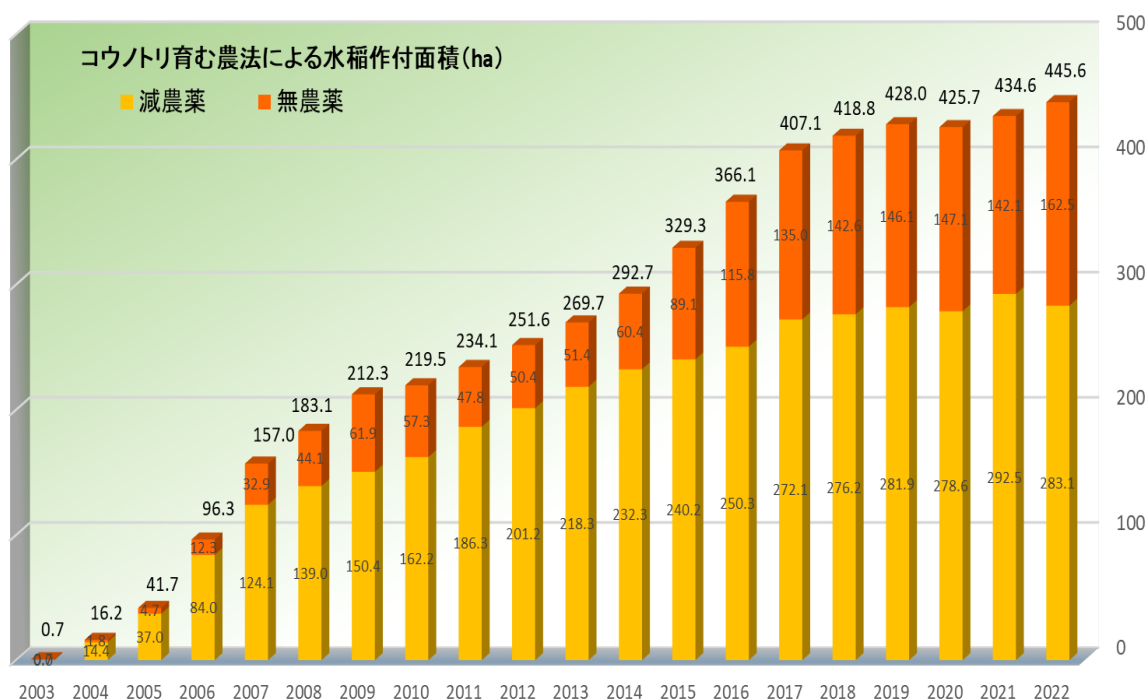
2022年度の豊岡市内におけるコウノトリ育む農法水稲作付の実績について報告する。

1 作付面積の状況

区分	2022年度	2021年度	前年比
無農薬	162.5ha	142.1ha	20.4ha (14.4%)
減農薬	283.1ha	292.5ha	△9.4ha (△3.2%)
計	445.6ha	434.6ha	11.0ha (2.5%)

2 作付面積の推移と分析

- (1) コウノトリ育む農法による全体の水稲作付面積は445.6ha、2.5%増加で過去最高となった。しかし、高齢化等により担い手不足や除草作業等の作業負担が大きいことなどが要因で、近年は、作付面積が微増となっている。
- (2) 一方、コウノトリ育む農法の無農薬栽培による水稲作付面積は20.4ha、14.4%増加している。これは、食の安全への関心の高まりから無農薬栽培米のニーズが高く、高価格で取引されているため、無農薬栽培に転換する水稲農家が増えたためと考えられる。



3 今後の取組み方針

- (1) コウノトリ育む農法の省力化及び収量増加を目指した、新たな技術の実証事業
- (2) 市内の学校給食におけるコウノトリ育む農法無農薬栽培米の試験導入の継続
- (3) 市内生産者向けのコウノトリ育む農法の普及促進
- (4) 小学校におけるコウノトリ育む農法の授業を生産者と共同で実施



〔問合せ〕 コウノトリ共生部農林水産課 TEL0796-23-1127(直通)